

第3回委員会での主なご意見と対応予定

	ご意見	対応予定
1	◆国の動向等や社会環境の変化を分析すべきではないか。	◆別紙資料2のとおり（参考資料）。 ◆資料2の内容を、第1章・第2章を中心に盛り込む予定。
2	◆現状や課題と施策がリンクしていないのでは。	◆現状・課題・施策の精査を行い、それぞれがつながっていることをわかりやすく表現する予定。
3	◆重点施策をどのように考えるか。	◆重点施策を設定するかどうか、何を設定するかは、ご議論いただきたい。
4	◆前計画、本計画ともに、市民調査の結果等を用いながら定量的に進捗を見る必要があるのでは。	◆計画の進行管理として、中間評価として5年後、最終評価として10年後にアンケート等を行うことについてご議論いただきたい。 ◆前計画の進捗を確認する一つ的手段として、平成30年度に実施した市民調査の結果を活用する予定。
5	◆個人のために学ぶことと、社会のために学ぶことはつながっている。したがって、地域社会のために学ぶ人が少ない現状を、必ずしも悪いことと捉える必要はないのでは。また、個人と社会を媒介するものが必要では。	◆生涯学習の定義や計画の目的等を含め、いただいたご意見をもとに全編を通じて基本的な考え方を整理する予定。 ◆個人と社会を媒介するための施策の方向性について検討し、記載する予定。
6	◆高齢者、子ども等の具体的なテーマについて記述を深めるべきでは。	◆第3章「具体的施策」の記述により対応する予定。
7	◆市が現在提供する主な学びの機会についてわかりやすく表現するべきでは。	◆第2章の修正により対応する予定。
8	◆豊さの意味について議論するべきでは。	◆ご議論いただいた内容を、主に第1章に反映させる予定。
9	◆武蔵野らしさについて議論するべきでは。	◆ご議論いただいた内容を、全編に反映させる予定。
10	◆生涯学習の魅力が伝わる記述とするべきでは。	◆全編を通じて反映させる予定。